

# 製品紹介

当社が開発に関わった製品を紹介します。

切創や衝撃、炎から、ケーブルを守る

## 耐切創配管保護シート「EasyGuard™」

EasyGuard (イージーガード)™は、ケーブルの保護カバーです。造園、道路、公園の整備などにおける草刈り作業時に、電動草刈り機などによる、地上に設置したケーブルの切断リスクを軽減します。この製品は、当社が考案し、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社が製品化しました。



金属に迫る強靭性と高い耐水性を備えたシートで  
重要なケーブルを保護します

### EasyGuard™の メリット・特徴

- ポリアリレート、ガラス繊維、高分子量ポリエチレンを組み合わせた複層構造により、金属のような強靭さでケーブルを保護します。
- 強靭でありながら織物の柔らかさを持ち、扱いやすく施工性の良いシートです。
- 生い茂る雑草の中でも目立つ、視認性の高いオレンジ色の外装です。

### 高い強靭性・ 耐水性・耐熱性

- 草刈り作業中の電動草刈り機などによる切創や衝撃からケーブルを守ります。
- 水分や高熱にも強く安心です。

織物では比類のない性能を有しています

### 特殊素材「P-TEX®」(U1)及び「PG4」の特徴

「P-TEX®」(U1)「PG4」は、「軽量」かつ「刃物による切りつけ」に強く、防刃ベストや切創事故を防ぐための防護衣など、刃物・ガラスによる負傷・事故を防ぐ用品向け素材として使用されています。



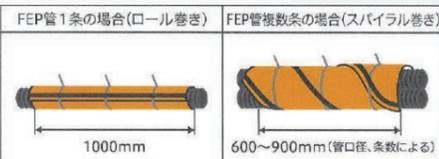
切創試験の様子：チェーンソーの歯をシートに当てても表面に浅い傷が付く程度で中の配管は保護されます。

### 構造

外側にはポリアリレートとガラス繊維を組み合わせ、高い強靭性・耐熱性を実現。表面には耐水性のPVC加工を施した「P-TEX®」(U1)を採用しています。また内側には、高分子量ポリエチレンとガラス繊維を組み合わせた「P-TEX®」(PG4)を使用しています。これら特殊繊維の複層構造によって、織物では比類のない、金属に迫る高い強度となっています。

### 優れた作業性

織物ならではの柔軟性をもっているため、運搬や施工がしやすく、保管も容易です。部分的に装着することも可能であるため必要に応じて柔軟な施工対応ができ、材料にも無駄が生じません。



# トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31  
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ  
TEL 052-219-1906  
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している  
以外にも当社の最新  
ニュースや施工実績を  
HPでご覧いただけます。



マスコットキャラクター  
つながリン

No.19

## あいち女性輝きカンパニー 優良企業で表彰



▲大村愛知県知事(左)から表彰状を授与された

当社は「あいち女性輝きカンパニー」優良企業として11月11日に愛知県から表彰されました。この表彰は、愛知県から「あいち女性輝きカンパニー」に認証されている企業の中から、特に優秀な企業に贈られるものです。当社は女性メンターの活躍や女性技術者の職場環境向上の取り組みなどを高く評価していただきました。

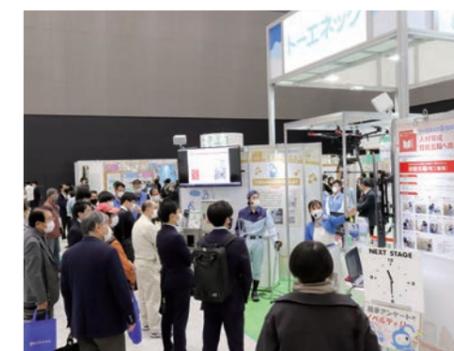


▲上休場社員



▲高田社員

**技能五輪全国大会「電工」で2人が敢闘賞**  
第60回技能五輪全国大会(主催：中央職業能力開発協会)が、11月4日〜7日の4日間、千葉県で開催され、各都道府県の代表に選ばれた原則23歳以下の若手技能者約1,000人が42職種で競い合いました。当社からは7人が、屋内電気工事の技術を競う「電工職種」に出場し、上休場唯澄社員(愛知県代表)と高田勇樹社員(静岡県代表)の2人が敢闘賞を受賞しました。



▲技能五輪選手による実演ステージの様子

**メッセナゴヤ2022へ出展**  
名古屋商工会議所などが主催する展示会「メッセナゴヤ2022」が、11月16日〜18日の3日間、ポートメッセなごや(名古屋港区)で開催されました。当社は、お客さまのSDGS目標達成に寄与する製品やサービスなどを出展し、金属加工工場から出る廃液を減らす「スカムリデューサー」、当社独自のエネルギー管理システム「TOEMS」などを紹介しました。

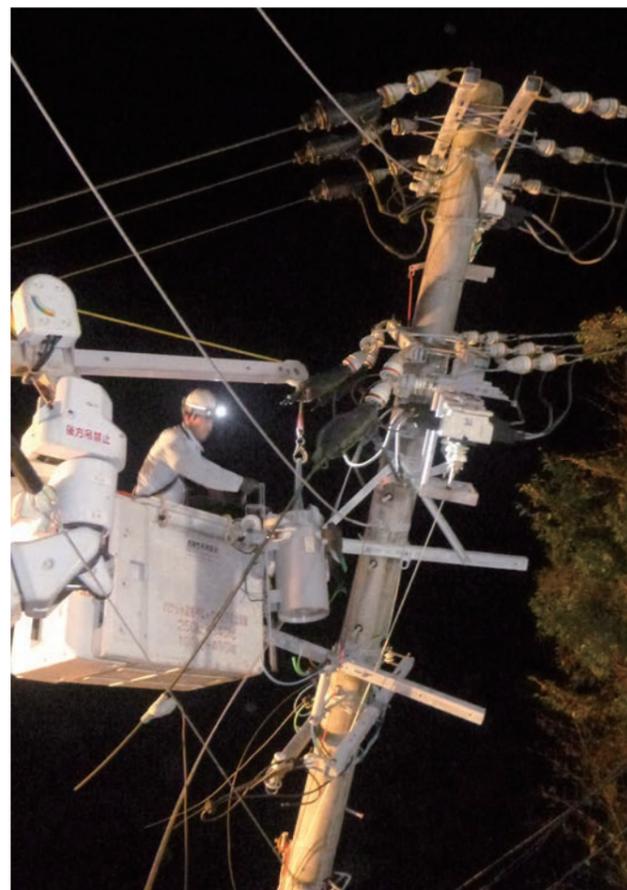
### 製品のお問い合わせ先

工場の廃液(スカム)を減らす「スカムリデューサー」	技術研究開発部
エネルギー管理システム「TOEMS」	TEL:052-619-1707



## BCP訓練

当社は、公益事業の一端を担う総合設備企業として、BCPの確実な実行に向け体制の整備に取り組んでいます。その一環として、11月8日に本店でBCP訓練を行い、本店および静岡・三重支店の災害対策本部の構成員など約60人が参加しました。今回の訓練は、巨大地震が発生し、当社中部エリア事業場の多くが同時に被害を受け、当社の静岡・三重支店が甚大な被害を受けたという想定で、災害対策本部と災害対策本部の設置、従業員と家族の安全確保の被害状況、備蓄品などの確認、収集した情報に基づく行動判断指示報告などの訓練を行いました。



▲静岡での災害復旧の様子(台風15号)▲

2022年9月に、大型で非常に強い台風14号が日本列島を縦断し、九州地方で大規模な停電が発生するなどの被害を受けました。数日後に台風15号が、西日本と東日本の太平洋側に接近し、特に静岡県で記録的な大雨となり、浸水や断水、停電などが相次ぎました。

台風14号の災害復旧では、当社は愛知・岐阜・三重・静岡・長野の各県で復旧にあたったほか、九州・四国地方にも動員を行い復旧にあたりました。また、台風15号の災害復旧では、静岡・三重・岐阜の各県で復旧にあたりました。

当社では、台風14・15号あわせて、全社で延べ約1,500人を動員し、早期復旧に努めました。

**災害復旧**  
2022年9月に大型の台風14号・15号が、連続で各地に被害を及ぼしました。当社は一丸となって復旧にあたりました。



▲日本最大級の広さを誇る無柱空間

**第1展示館**  
第1展示館は、日本最大級となる天井高20m・広さ20,000㎡の無柱空間となっています。

天井の電気設備工事は高所作業になりました。広大な現場内で安全かつ効率的に施工を進めるため、高所作業車の作業範囲について綿密な施工計画を立て、現地確認を念頭に実施した上で作業に入りました。

広い現場内では、当社の電気工事だけでなく、複数の施工業者が同時に作業を行っていたため、屋根などが仕上がる前にできる作業(ケーブルラックや配線支持材の取り付け)を先行して実施し、複数の作業が集中する繁忙期の混乱を回避しました。

**施工概要**

■工事場所 名古屋市港区金城ふ頭3-2-1 ■工期 2020年5月25日～2022年6月30日



▲コンベンションセンターの大会議室

**コンベンションセンター**  
コンベンションセンターは、用途に応じ分割可能な1,000㎡の大会議室と、300㎡の中間会議室のほか、300席のレストランや多目的スペースがあります。

会議室のAV(音響・映像)設備の施工にあたって、大会議室は可動間仕切りによって8つのパターンに部屋のレイアウトを変形させることができるため、照明やAV設備のタッチパネル制御システムについても、8つのレイアウトパターン全てに対し、正常に動作し、かつ使いやすいように、レイアウトパターンごとに一つひとつ入念に確認しながら施工しました。

**施工概要**

■工事場所 名古屋市港区金城ふ頭2-7-1 ■工期 2021年5月14日～2022年7月31日

**名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)**  
愛知県名古屋市の港区(金城ふ頭)にある「名古屋市国際展示場」は、3つの展示場から成る大型施設です。今回、3つのうちの「第1展示館」がリニューアルされ、「コンベンションセンター」が新設されました。

当社は、第1展示館とコンベンションセンターの受変電・発電機・直流電源・幹線動力をはじめとした施設全体の電気設備工事を施工するとともに、「コンベンションセンター」の音響設備工事なども施工しました。

**IR情報**

2023年3月期  
第2四半期決算  
(2022年4月1日～  
2022年9月30日)

連結業績につきましては、売上高は屋内線工事や通信工事など一般得意先向けの工事が順調に進捗したことなどにより増収となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加などにより営業利益・経常利益は減益となりました。

**連結経営成績** (単位:百万円)

	2023年3月期第2四半期	2022年3月期第2四半期
売上高	107,608 (7.0%)	100,526 (△2.0%)
営業利益	4,768 (△6.3%)	5,087(△22.8%)
経常利益	4,120(△10.2%)	4,589(△26.2%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△7,133 (-)	3,026(△26.5%)

**個別経営成績** (単位:百万円)

	2023年3月期第2四半期	2022年3月期第2四半期
売上高	96,674 (9.3%)	88,446 (△5.5%)
営業利益	4,031 (5.3%)	3,829(△29.9%)
経常利益	3,801(10.9%)	3,426(△32.4%)
四半期純利益	△7,167 (-)	2,321(△31.0%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前年同四半期増減率

**快足通信**

**ニューイヤー駅伝2023**

▲スタートの様子

▲ゴールする当社の河合拓巳選手

ニューイヤー駅伝2023(第67回全日本実業対抗駅伝競走大会)が、群馬県前橋市の群馬県庁をスタート・ゴールとした7区間100kmで開催され、11年連続13回目の出場となる当社チームをはじめ、全国から36チームが出場しました。

当社チームは25位(記録:4時間57分06秒)でゴールしました。